

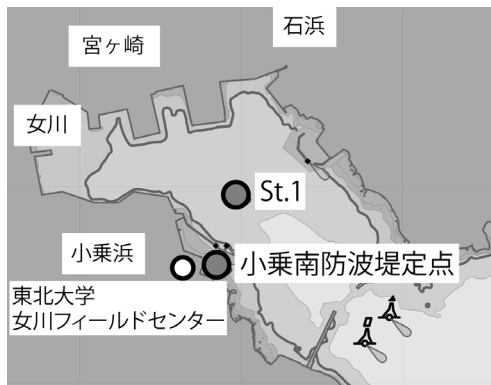
週刊 女川湾海況速報 (No.68)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11 月 11 日から 15 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は下降したが、塩分はやや上昇。水温は 15.0～16.2℃の範囲にあり、経時的には期間を通じて全層で下降。塩分は 33.2～33.3 の範囲にあり、期間を通じて各水深でほぼ一定で推移。鉛直的には水温と塩分はともにほぼ一定。水温の下降は海面冷却の影響、鉛直的に一様な構造は海面冷却にとともなう鉛直混合の影響と推定。

水深 [m]	11月11日 (月)	11月12日 (火)	11月13日 (水)	11月14日 (木)	11月15日 (金)
0	16.1 (33.2)	15.8 (33.2)	15.3 (33.2)	15.2 (33.2)	15.1 (33.2)
6	16.2 (33.3)	15.8 (33.3)	15.4 (33.3)	15.2 (33.3)	15.0 (33.2)

水温の単位は℃。*15日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して表層（0m）で上昇したが、底層（6m）では下降。経時的には表層で12日に一旦上昇し、その後徐々に下降。底層では期間を通じて上昇傾向。
(単位はFTU)

水深 [m]	11月11日 (月)	11月12日 (火)	11月13日 (水)	11月14日 (木)	11月15日 (金)
0	1.0	1.3	1.2	0.8	0.7
6	1.2	1.2	1.4	1.6	2.1

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、6～7mg/l 台を示した。経時的には各水深でほぼ一定で推移し、期間を通じて表層では 7.0～7.1mg/l、底層では 6.8～7.1mg/l を示した。

水深 [m]	11月11日 (月)	11月12日 (火)	11月13日 (水)	11月14日 (木)	11月15日 (金)
0	7.0	7.0	7.1	7.1	7.0
6	6.9	6.9	7.0	7.1	6.8

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 15.3～15.4℃、33.1～33.3 の範囲にあった。濁度は 0.9～1.7FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は全層で 7.1mg/l を示し、鉛直的に一定。先週と比較して、水深 10m 以深で酸素飽和度が上昇し、86～88%を示した。

11月13日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	15.4	33.1	1.3	7.1
5	15.4	33.3	1.2	7.1
10	15.4	33.3	1.1	7.1
15	15.4	33.3	0.9	7.1
20	15.3	33.3	1.7	7.1

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。